

湯河原ロータリークラブ



WEEKLY REPORT

心の中を見つめよう
博愛を広げるために

第 2409回 例会

平成23年7月15日(金)

天候 晴れ

合唱 奉仕の理想

会 長 伊藤 伸之

幹 事 望月 博文

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町土肥 1-14-25

中川方 TEL/FAX 0465(62)3056

例会場 静岡県熱海市泉 107/TEL0465(63)3721

ニューウェルシティ湯河原

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

本日は森ガバナーの公式訪問の日です。先々週は橋本ガバナー補佐の事前訪問で湯河原クラブの今年度の活動計画やクラブの進むべき方向性などいろいろご指導を頂きました。

それを基に例会の始まる前に森ガバナー、橋本ガバナー補佐と会長、副会長、幹事とで今年度の湯河原クラブの運営及び奉仕活動について話し合いをさせて頂きました。

今年度は創立50周年の記念すべき年度であります。湯河原クラブの良さとは何か。継続させる奉仕活動やマンネリ化したもの等クラブとしての棚卸をして次年度から100周年に向けより強固にしたクラブに出来ればと考えております。その為会員皆様方のご協力をお願い致します。

例会のあとクラブ協議会から懇親会となります。森ガバナーは大変お忙しい中懇親会までお付き合いをして頂けます。ガバナーと直に話をされる機会はなかなかありません。本日はこの機会にロータリーに関することや地区に関する点でも疑問点や分からない点など何でもお話されたらと思います。

今週の12日(火曜日)第9グループの会長幹事会とIM実行委員会が開かれましたがこの件は次回に説明させて頂きます。

幹事報告

ガバナー

1. 今年度から中途入会者の地区資金納入のお願い (2000×月数) 熱海南 RC

雑件

1. 小田原・足柄 RC からクラブ計画書

スマイルBOX

森 洋ガバナー

公式訪問お伺いしました

橋本ガバナー補佐

森ガバナーとお邪魔しました

石倉幸久君

自宅前に横断歩道ができました

小松雄成君

前年度会長ご苦労様でした

小松雄成君、安江明考君、伊藤伸之君

森ガバナーようこそ、よろしくご指導下さい

本日のお客様

森 洋君

第2780地区ガバナー 横須賀北 RC

橋本槇雄君

第2780地区ガバナー補佐小田原 RC

出席報告	ゲスト及びビジター 2名		
	会員 26名	欠席 4(2)名	出席率 91.67%
	前回の修正出席率 91.30%	前々回の修正出席率 100%	

森 洋 第 2780 地区ガバナー

ロータリー暦

- 1983,11 横須賀北 RC 入会
 92~93 同会長
 93~94 インターアクト委員会委員
 94~95 地区青少年委員長
 95~96 地区青少年委員長
 96~97 地区世界社会奉仕委員長
 99~00 地区ロータリー財団副委員長
 00~01 地区副幹事
 01~02 第 1 文区代理
 02~03 地区新世代委員長
 03~04 地区クラブ奉仕委員長
 04~05 ジャパンプログラム・平和センター
 委員長
 05~06 地区研修委員
 09~10 地区危機管理委員
 ガバナーノミニ
 10~11 地区危機管理委員
 オンツー・ニューオリンズ国際大会
 委員長
 ガバナーエレクト
 ポール・ハリス・フェロー/マルチプル・
 フェロー/ベネファクター/大口寄付/
 米山功労者

今日で 5 つ目の「公式訪問」でございます。不慣れな点もございませうがよろしくお願ひいたします。

本年度のカルヤン・バネルジー RI 会長はインドの方で、1942 年生まれということで私と同じです。2 回ほどお会いいたしました、非常に心優しい家族思いの方とお見受けいたしました。

今年のテーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」につきまして、まず自分自身を見つめなおし、相手の立ち場になって、行動しようということをおっしゃっていました。

そして 3 つの強調事項を大事にしていくということです。第一に強い家族を築くこと、第二に得意とすることを継続していくこと、第三は、変える必要があることは変えるということです。

家族愛が原点です。家庭が上手くいってこそ、仕事がスムーズにいくということです。得意とするものを継続することが大事ですが、時代の流れによって変えなければならないときには、変える勇気も必要で、この 3 点を今年度の強調事項として進めてゆこう、というのが RI 会長の方針です。オバマ大統領は、「change」「yes, we can」の言葉を強調しましたが、私自身は、「yse, we must」という言葉でやっていきたいと思ひます。



次にガバナーとしての方針についてお話いたします。「世界は絶えず変化しています。そして私たちは、世界とともに変化する心構えがなければなりません。」この言葉は、ロータリーの創始者ポール・ハリスが 1953 年、今から 75 年以上前に本に書き記されており、そして、その言葉は、今もなお真実を表していると思ひます。

一方、近年のロータリーはポリオ撲滅をはじめとする RI 財団の活動の拡大、RI のプログラムの増加、会員減少化における地区組織の肥大化、DLP、CLP、RI 長期計画、未来の夢計画等、ロータリーの活動は大きく変貌し、地区内クラブを支援すべき地区の役割は増大の一途を辿っています。

このような環境変化の中、あくまでもクラブが主体であり、クラブあって、地区、RI があるという原則を重んじつつ、複雑になってきたものを簡素化して且つ充実させ、今年度後藤ガバナーから、森、菅原へと連続性を持って効率よく地区組織運営をする決意です。

この後わが湯河原ロータリークラブ恒例の「ガバナー公式訪問後懇親会」が行われ、普段ガバナーと触れ合うことが出来ない中、価値ある時間を共有させていただきました。

